

第1回講演会のお知らせ

大学発スタートアップで挑む対話診断AIエージェントの社会実装

人間の能力は、対話を通して引き出され、測られ、育てられる。
講演者は早稲田大学で社会的会話エージェントの研究で博士号を取得後、米国カーネギーメロン大学での5年間の博士研究員を経て、帰国後、自身の研究成果の社会実装を目指して大学発研究開発型スタートアップを創業した。会話AIエージェントによる言語能力診断・学習支援プラットフォーム「LANGX(ラングエックス)」等を開発し、日本英語検定協会はじめ主要言語試験期間との共同研究、全国の大学・自治体・省庁との連携を通じて、教育・HR・ヘルスケア領域における「対話で測り、対話で育てる」産業インフラの構築を進めている。
本講演では、最新の対話診断AIエージェントを支える技術基盤であるFull-Duplex音声対話モデル、マルチモーダル習熟度推定、Agenticな対話診断ワークフロー、妥当性検証等を俯瞰しつつ、実プロダクトのデモを交えて研究成果がいかに社会インフラへと結実していくかを論じる。あわせて、研究者から大学発ベンチャー起業家へと至るキャリアパス、および若手研究者が研究と産業創造の両輪で社会を動かす時代の可能性について、参加者の皆さんと議論する。

2026

講師

株式会社 エキュメノポリス 代表取締役
早稲田大学 客員准教授

5/28 土

松山 洋一 様

16:00-17:30

工学研究科 電子情報システム・応物系 復興記念教育研究未来館 1階 復興記念ホール

【オンライン併用】

アクセス



略歴: 2015年早稲田大学大学院基幹理工学研究科博士後期課程修了(工学)。カーネギーメロン大学言語技術研究所およびヒューマン・コンピュータ・インタラクション研究所にて博士研究員として産学連携プロジェクトを主導。帰国後、早稲田大学知覚情報システム研究所 主任研究員(研究院 准教授)に就任。一連の研究プロジェクトの成果の社会実装を目指し、2022年に株式会社エキュメノポリスを創業。専門は社会的対話エージェント、応用言語学。受賞歴に、Forbes Japan 日本発スタートアップ100選(2026)、テレコム学際研究賞(2026)、JEITAベンチャー賞(2025)、大学発ベンチャー表彰 JST理事長賞(2024)、SIGDIAL Best Paper Award(2024)、SXSW EDU Finalist(2023)、Reimagine Education Award(2021)等がある。

こちらのアドレスまたは左記QRコードよりご確認ください。

<https://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=d&build=14>

参加申込

会場参加は学内関係者に限らせていただきます。学外の方はオンラインでご参加ください。下記Googleフォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/ZeJPWCyPqx44ARbc6>